

北海道COC+コンソーシアム  
一般社団法人北海道中小企業家同友会 共同求人委員会 共催  
室蘭工業大学教職員と企業との懇談会 アンケート結果

実施日:2018年11月1日(木)14:00~16:30

対象者:41名中 37名回答(回収率 90.2%)

**1 大学側;地元企業に期待することはどのようなことですか。**

- ・ 学生と接点を増やして欲しい
- ・ 互いの情報交換
- ・ 学生に地元企業の紹介をする機会を増やす。
- ・ 外国人の採用
- ・ 室工大学生を採用してほしい。
- ・ 協働による活性化(地域、人材育成など)
- ・ インターンシップを企画して欲しい。学生採用に最も効果的。
- ・ 学生への多くの情報公開
- ・ 学生一人ひとり違うので、見極めて育てて欲しい。

**2 企業側;室蘭工業大学に期待することはどのようなことですか？**

- ・ 学生を道内企業に入る方向で動機づけして欲しい。
- ・ 小企業へも臆せずを送り出していただきたい。
- ・ 地元企業の紹介の場。
- ・ 学生と企業の接点になっていただける先生を紹介していただきたい。
- ・ 学生との接点をもっと多くしてほしい。
- ・ インターン希望します。
- ・ 卒業生の地元定着。
- ・ 中小企業でも安心してインターンシップに出していただきたいと思います。
- ・ 中小企業にも魅力ある企業があるので、学生にも中小企業の話も一度は聞く機会を持つように伝えて欲しい。
- ・ インターンシップを多くの学生に。
- ・ 学生と先生と企業のライン構築
- ・ インターン連携
- ・ 当社が研究に参加協力できることがあればどしどし言ってほしい。
- ・ 学生の情報を提供していただきたい。
- ・ 地域社会の発展という観点での地元企業と学生の関係性づくり。
- ・ 企業と学校との定期的な情報交換の場(今回のような懇談会等)。
- ・ 学生がどのような企業を求めているかの公表。
- ・ 学生の情報。
- ・ 企業の説明を学生にするチャンスが欲しい。
- ・ 優秀な学生の輩出。やる気のある学生を育てる。
- ・ 学生と企業が接する機会を多くしてほしい。
- ・ 学生と企業との更に太いパイプ役になっていただきたい。
- ・ 学生と会う機会を多く取って欲しい。
- ・ 企業の周知等
- ・ 学生への後押し。
- ・ 企業としても積極的に訪問しますので、是非学校・学生・企業の3者が良い方向に進めるようにしたいです。

### 3 本日の懇談会で一番参考になった点をご記入ください。

#### 【学校参加者】

- ・ 建設業の様子
- ・ インターンシップの必要性和重要性
- ・ 企業の若手定着に向けた取り組み
- ・ 大学側の常識を企業側が知らないことが多い
- ・ 会社がインターンシップを負担だとは思っていない。奨学金で借金を抱えていることが問題であると知っていた点
- ・ 企業での人材育成などを知ることができ、参考になった。
- ・ 地元企業の現状と問題点
- ・ 企業の抱える問題がよく分かった。
- ・ メンター制度が功を奏している。

#### 【企業参加者】

- ・ このような機会が重要だと改めて知ることができた。
- ・ 定着に向けての人事の取り組みなど参考になりました。
- ・ 学校側、学生さんの考え方について教えていただいたこと。
- ・ 大企業側の内定取消があるという事実が驚いた。学生を人材として育む姿勢が足りないと思う。
- ・ インターンシップとメンター制度をしていきたい。
- ・ インターンシップがやはり有効だと・・・。
- ・ 若年者の判断基準。
- ・ 先生の皆様にちょっとした後押しをしていただけるような企業になりたいと思います。
- ・ 学校側(先生側)からの意見が聞けた。
- ・ 土日に内定者フォローして欲しい。平日は勉強を優先して欲しい。
- ・ 大学に情報を提供して採用に結びつけている(株)ヤブシタさまのお話が興味深かった。
- ・ 若者定着の各社の取り組み。
- ・ 地域と企業の関わりについての各種意見。
- ・ インターンシップ制度の有効性。(2社)
- ・ 教育、経営者混在のグループディスカッション。
- ・ 各社の若者への定着への取組み。
- ・ 若者の思考。
- ・ 大学生は企業を知らないこと。
- ・ 定着。学生が2極化している。
- ・ 学校側及び学生側の就活に対する考え方がわかったこと。
- ・ 若者の考え方。30%が志が高く、残りはそうでもない。
- ・ 先生方とのディスカッション
- ・ インターンはほぼ100%の学生が参加できる。
- ・ 学校からの情報や、他企業の取組み

### 4 今後、検討したいテーマや懇談会への要望をお書きください。

#### 【学校参加者】

- ・ 学生と企業若手の共働作業
- ・ 今回の検討のテーマは漠然としていました。具体的なものを希望します。
- ・ 参加企業の職種が土木・建築関係に偏っているので、多種類の企業の参加。本州からの企業の参加が望ましい。
- ・ 人材育成など
- ・ 若者のやる気アップを検討したい。

### 【企業参加者】

- ・ 学生と企業の接点を増す。学生がやりがいを感じる企業像を知ることができれば良いと思う。
- ・ なかなか教員の方との接点がなく、良い機会を頂きました。
- ・ このような場を継続して設けていただきたいと思います。
- ・ 大学を中心(窓口)とした人材交流(UIターンを含む)のシステムを作る動きをしたいと思いました。
- ・ 大学と学生との接点を多くするイベントを企画してほしい。
- ・ 残業等の労働時間と学生の意識について。
- ・ ①インターンシップに出していただける(安心して)企業とは？②合説、学内説明会で座ってもらえる企業になるためには？回数を重ねてきて、より本音でお話いただけるようになったと感じています。ありがとうございました。
- ・ 大学、先生への企業紹介を行える機会を設けてほしい。
- ・ どうしたら室工大生が来てくれるのかを掘り下げる検討会。
- ・ 学生が望んでいるものと企業側がそれをふまえて何を促していくか。
- ・ 中小企業に特化した合同企業説明会を開いてほしい。
- ・ 今後とも継続して懇談会を開催していただきたい。
- ・ エンゲージメントの深め方。
- ・ 学生の意見等。
- ・ インターンシップ。
- ・ インターンシップ等の学生との接点の有効活用、またはやり方。
- ・ 時間的に「若者定着」について、突っ込んだ話ができなかったので、同テーマでもう一度やりたい。
- ・ 立食でお酒がでて良いかと思います(親睦会)。各社のスピーチ(3分程度)と先生のスピーチがあっても良いと思う。学生も呼んで討論会をやりたい。(北海道(中小企業)と本州(大企業)の良いところ対決)
- ・ インターンシップの在り方について。
- ・ 内定者フォローアップ研修を早め実施することの是非

